推 薦 図 書

副 学 長	氏　名：　井上 靖久

書　名：　シーラという子　虐待されたある少女の物語

著者・訳者：　トリイ・L・ヘイデン著　　入江真佐子訳

出　版　：　早川書房　1996

〈推　薦　文〉

２０００年になって日本でようやく「児童虐待の防止等に関する法律」が国会を通過した。過酷な幼児期を過ごした人々の、その後の対人関係の障害、友達を作れないこと、気分のムラ、虚言傾向、怒りと衝動性、自殺しやすさ、アルコールやドラッグへの依存性、恋愛幻想とそこから始まるストーカー行為、多重人格を含む解離性障害などに関心を持つ人々はまだ極めて少ない時期に「シーラという子」は一部の日本人に衝撃を与えた。当時「日本には性的虐待がない」と考えていた多くの知識人に影響を与えた。また、日本でのトリイの講演会には多くの「シーラたち」が訪れ、時代が動いたといっても過言ではない。また、この物語は通常のノンフィクションというより完全な実話であり、「タイガーと呼ばれた子」という続編があります。ぜひどちらも手にして、人の成長と人格に対する環境因子の苛烈さと愛情の複雑さと重要性を実感してください。